



福山平成大学 開学30周年記念式典



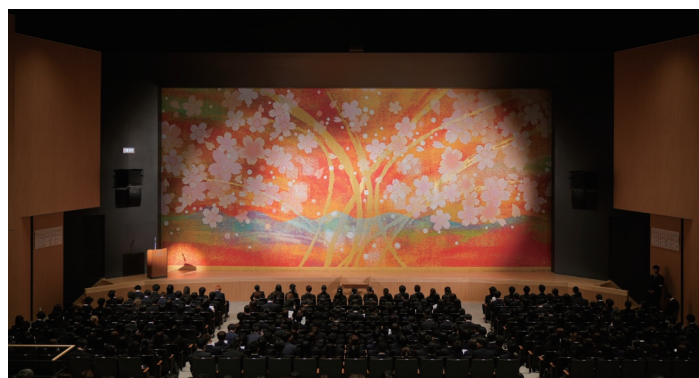
この度、本学が開学30周年を迎えたことを記念して、2025年2月16日(日)に、14号館学生会館(日新館)において、開学30周年記念式典が挙行されました。来賓の方々をはじめ、一般招待者及び教職員、学生550名余りが出席しました。

式典終了後、記念講演として、東京大学名誉教授・神奈川大学特別招聘教授 岩井克人先生による講演、続いて、喜多流大島能楽堂 大島衣恵氏による能楽公演を行いました。また、司会として洲上沙紀RCC中国放送アナウンサーにより式典が進行され、記念式典、記念講演、能楽公演が無事終了いたしました。

30周年を新たな出発点として、更なる発展に向けて日々揺ぎなく前進し続けたいと考えております。皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。



入学式



4月4日(金)に、2024月12月に竣工されたばかりの14号館学生会館(日新館)で入学式が挙行されました。満開の桜に出迎えられ、学部・大学院・専攻科あわせて318名の新入生が入学し、入学生の代表として、看護学科の片山陽菜さんが入学生総代宣誓を行いました。



福祉学科 学長杯争奪競技大会

令和7年5月15日(木)に学長杯争奪競技大会が開催されました。

昨年、福祉学科はソフトボールの部において優勝しました。今年は、ディフェンディングチャンピオンとして2連覇を達成すべく臨みました。また、ソフトバレーボールでも上位入賞を目指しました。

ソフトボールはAチーム、Bチームの2チームでエントリーしました。ソフトボールBチームとソフトバレーボールは健闘むなしく敗退してしまいましたがソフトボールAチームが見事決勝まで駒を進めました。両チームはすぐに切り替えてソフトボールAチーム決勝の応援に駆けつけてくれました。ソフトボールの選手も応援学生も福祉学科全員で一丸となって臨んだ決勝戦は惜しくも優勝を逃してしまいました。しかし、選手をはじめ応援した学生、教員、全員で参加し力を出し切った良い試合でした。

次年度は新たに挑戦者として優勝を目指すことを誓いました。

助教 松本 末信

経営学科



経営講演会・地域企業人材マネジメント研究会

経営学部経営学科では、備後地域を中心とした諸機関との産学官連携を通じた、地域貢献と融合したアクティブラーニングに積極的に取り組んでいます。今回は、二つの取組を紹介いたします。一つは、昨年12月に開催された経営講演会です。福山平成大学経営学部びんご経営リサーチセンター主催、公益財団法人ひろしま産業振興機構後援、福山市協力によるこの講演会では、公益財団法人ひろしま産業振興機構福山支所長の鳥越直樹氏をお迎えし、第一部で「備後の『ものづくり』の歩み」と題する講演、第二部で、小川長 経営学部長との対談を通じて、「備後のものづくり・ひとづくり」を語っていただきました。

社会人の方々をはじめ、およそ80人が参加したこの講演会では、本学科の学生の皆さんも参加し、聴講するだけでなく、会場スタッフとしてもサポートしてくれました。イベントの裏方も体験することで、来場者の対応や挨拶など、社会人基礎力を身につけることができました。

もう一つは、福山平成大学経営学部びんご経営リサーチセンター、福山地方雇用対策協議会、福山商工会議所及び福山市の共催による研究会です。備後地域における組織の人材マネジメントの課題解決を目指した「地域企業人材マネジメント研究会」は昨年度、4回にわたって開催されました。本学科の学生の皆さんも、会場スタッフとしてサポートしてくただけでなく、参加された地元の経営者や役員、ミドルマネジャーなど企業関係者や高度専門家と一緒に、備後地域において、人を大切にする組織の一つでも多く増える方策を考えてくれました。

准教授 兒子 正治

看護学科

ようこそ先輩
～卒業生から後輩に伝えたい看護のこころ～



看護学科では、課題探求学習のひとつとして、2年生で「基礎ゼミⅡ」を開講しています。本科目のなかの「キャリア形成の明確化」では、看護師、助産師、保健師、養護教諭として、それぞれの場で活躍している卒業生から「仕事を通して後輩に望むこと」と題して講話をしていただいています。終了後には直接、卒業生への質問や意見交換がカギリアルに行われており、ホームカミングデイの一環として、卒業生との繋がり強化になることも期待しています。今年は、島根県をはじめ中国地域から4名の卒業生に参加をしていただきました。

学生は、先輩から日々の活動内容や仕事に取り組む姿勢、学生時代から努力してきたことなど、仕事を通じて得た経験やスキルの蓄積と自己実現を追求するプロセスを聞くことで、自分の将来をイメージしながら現実味を持ってキャリアを考える機会となりました。また、卒業後も更に成長することを目指し自己研鑽に努める能動的な姿勢は、今後、控える臨地実習や2年後の看護師国家試験、保健師国家試験・教員採用試験といった資格取得に向けた各自のモチベーションを高めることに繋がったようです。キャリア形成に向けて「なりたい自分」を目指し、学生生活を頑張る皆さんをこれからもしっかりサポートしていきたいと考えています。

教授 内田 史江

Topics 学科トピックス

健康スポーツ科学科 新入生オリエンテーションを振り返って

健康スポーツ科学科では例年通り、4月に一泊二日の新入生オリエンテーション合宿が実施されました。2、4年生の学生リーダーが春休みの時間を使って企画を練り上げ運営を行っていただきました。1日目は各ゼミや全体でアイスブレイクが行われ、はじめて出会った人との仲を深めたり、集団行動について学んだりしました。2日目にはゼミ対抗でスポーツ雪合戦などの様々なスポーツレクリエーションが行われ、みんなで協力する楽しさ、大切さを改めて学びました。

私の所属する入澤ゼミでは、1日目のアイスブレイクを通じて会話がはずむようになり、食事の際にはお互いの好きな食べ物、嫌いな食べ物を交換したり、ご飯大盛りチャレンジをしたりしてさらにゼミ班の仲が深まりました。2日目のゼミ対抗レクリエーションでは協力・団結して優勝することができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

さらに、宿泊班のメンバーとは、就寝前に施設内を散歩したり高校での思い出などを話したりして、ゼミ以外でも新しい友達をつくることができました。

1年 大橋 美佑



こども学科

「キャンパスリポーター」が活躍しています！

こども学科では、4年生の牧本有珠さん、2年生の黒田奈保実さんが「キャンパスリポーター」として活躍しています。「キャンパスリポーター」とは、中国新聞社が募集して任命している学生記者のことで、中国新聞やウェブサイトに記事を投稿することができ、二人とも、中国新聞社で研修を受け学生記者として活動を始めました。

牧本さんが書いた記事には、「落ち葉を拾ってあそぼう」といったこども学科の活動をはじめ、福祉学科の「ミンクバ」や開学30周年を祝う記念式典などの大学行事などがあります。黒田さんは、福山北特別支援学校との交流や「さくらDining」での学生応援フェア(大学後援会の補助で全メニューが100円引きになる)など、福山平成大学に関する出来事を幅広く、客観的な視点で取材し新聞を通して発信しています。

二人とも、軽い好奇心から「大学でしかできないこと」として「キャンパスリポーター」に取り組み始めましたが、毎回異なる話題や人々と出会う「記事が掲載されることで達成感を得るといった、やりがいを感じているようです。牧本さんは、3年生の時点で20本近くの記事を投稿して掲載され、中国新聞社から「キャンパスリポーター奨励賞」を授与されるまでになりました。



▲学食フェアのデジタル記事を見せる黒田さん



▲牧本さん

講師 佐伯 岳春

令和7年度 サークル活動記録

2025/6/2現在

男子バレーボール部				
第101回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会	4/19～5/11	広島大学体育館 他	優 勝	
第69回中国四国学生バレーボール選手権大会	5/24～5/26	岡山大学第2体育館 他	優 勝	
女子バレーボール部				
第69回中国四国学生バレーボール選手権大会	5/24～5/26	清水記念体育館 他	第3位	
軟式野球部				
第30回中国地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦	3/26～5/10	福山市竹ヶ端運動公園野球場 他	優 勝	
第5回全日本大学軟式野球選抜大会出場				
陸上競技部				
第79回中国四国学生陸上競技対校選手権大会				
5/9～5/11 ヤマトスポーツパーク				
男子 1500m	第3位	橋本 怜弥(健スポ4)		
女子 1500m	第1位	井上 菜名(健スポ1)		
女子 棒高跳	第1位	森迫 菜羽(健スポ2)		
優勝者は第94回日本学生陸上競技対校選手権大会に出場				
ソフトテニス部				
第47回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会				
第69回中国学生ソフトテニス優勝大会				
第27回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会				
5/2～5/6 宇部中央公園テニスコート				
男子団体	準優勝			
女子団体	優 勝			
男子ダブルス	優 勝	中川(経 営 3)・ 森(健スポ2)		
女子ダブルス	優 勝	柴田(健スポ4)・ 東脇(経営3)		
男子シングルス	優 勝	山根(健スポ4)		
女子シングルス	優 勝	正岡(こども1)		
全日本大学ソフトテニス王座決定戦に出場				

学長杯争奪競技大会報告

5月15日に学長杯争奪競技大会が開催されました。
ソフトボール9チーム、ソフトバレーボール8チームの約250名の参加者があり学生・教職員の熱き戦いが繰り広げられました。

競技の結果

- ソフトボール 優勝 看護学科A
準優勝 福祉学科A
- ソフトバレーボール 優勝 こども学科A
準優勝 こども学科B



令和7年度 マナー向上キャンペーン実施

令和7年5月22日にキャンパスマナー向上を図り、学生会・学科・サークルの学生及び教職員の総勢80人が協力し学内美化に努めました。





令和7年度 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)採択一覧

所 属 職 名	氏 名	研究 種 目	研究 課 題 名	研 究 期 間	交 付 金 額
経 営 学 部	教 授	堀越 昌和	基盤研究(C) 中小企業における女性後継者の承継後企業パフォーマンスの決定要因に関する研究	令和5年度～令和7年度	4,550,000円
経 営 学 部	教 授	市瀬 信子	基盤研究(C) 清代前半期の杭州詩壇を基盤として見る袁枚の文学活動とその詩観に関する研究	令和6年度～令和8年度	3,380,000円
経 営 学 部	准教授	兒子 正治	若 手 研 究 ベトナム、インドネシア、タイ(ASEAN地域)、日本のZ世代IT人材の労働価値観分析	令和7年度～令和10年度	4,810,000円
経 営 学 部	講 師	宗像 智仁	若 手 研 究 逆機能的行動に対する組織成員の動機づけの影響に関する研究	令和7年度～令和9年度	4,550,000円
福祉健康学部	講 師	下田 旭美	基盤研究(C) 海外展開する高専教育モデルの学修成果に関する研究ータイの事例を中心にー	令和7年度～令和10年度	4,680,000円
福祉健康学部	講 師	石田 咲子	基盤研究(C) 「息の長い」支援に向けた満期釈放者に対する再犯防止施策の検討	令和5年度～令和7年度	1,950,000円
福祉健康学部	教 授	田中 宏和	基盤研究(C) 学校現場における児童・生徒が有する著作権の保護の在り方	令和6年度～令和9年度	2,340,000円
福祉健康学部	講 師	峯田晋史郎	若 手 研 究 身体接触及び認知負荷を伴う動作中の内がえし捻挫受傷予防トレーニングの開発	令和3年度～令和7年度	4,680,000円
看 護 学 部	教 授	内田 史江	基盤研究(C) 在宅がん患者の看取りを支える「家族コミットメント」アセスメントツールの開発	令和4年度～令和7年度	1,040,000円
看 護 学 部	准教授	松本 陽子	若 手 研 究 精神科看護師が抱く陰性感情と視点取得の関わりモデルの構築	令和4年度～令和7年度	2,080,000円
看 護 学 部	准教授	中川名帆子	基盤研究(C) 新任教員の看護学実習指導能力育成に向けた教育プログラム提供アプリケーションの開発	令和7年度～令和10年度	4,290,000円

令和7年度 ■ 福山平成大学公開講座 ■

■ テーマ 未来を育む・支える・創り出すーこれからの社会を考えるー

■ 日時 全5回(8月28日・9月4日・11日・18日・25日)
18:30 ～ 20:00

■ 会場 福山平成大学 7号館大講義室

■ 受講対象者及び定員 一般市民 250名

■ 受講料 無料

■ 問い合わせ先 庶務課

第1回 8月28日 これからの「教育」の方向性を考える:最新の政策動向を中心に こども学科 黒木 貴人 准教授

第2回 9月 4日 元気な今だから考えたい!これからの暮らしと医療～人生会議(ACP)の進め方～ 福祉学科 奥田 亜矢 准教授

第3回 9月11日 レジリエンス(精神的回復力)を育むー子どもの健康問題から考えるー 健康スポーツ科学科 近藤 千穂 講 師

第4回 9月18日 地域包括ケアとこれから～地域共生社会の実現に向けて～ 看護学科 荒井 葉子 教 授

第5回 9月25日 学習リソースの1つとしての生成AIー学び続けるためのイマドキの手法?ー 経営学科 松葉 龍一 教 授

令和6年度 学校法人福山大学財務状況

貸借対照表 (令和7年3月31日) (単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	55,588,815,800	固定負債	1,860,391,555
有形固定資産	31,842,306,520	長期借入金	72,750,000
土地	6,905,160,619	退職給与引当金	1,642,027,552
建物	16,428,119,006	長期未払金	145,614,003
構築物	754,848,582	流動負債	2,279,661,369
教育研究用機器備品	2,400,240,092	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	24,318,873	未払金	111,750,918
図書	4,965,672,662	前受金	1,988,436,200
車両	1,148,775	預り金	131,714,251
船舶	7,116,911	負債の部合計	4,140,052,924
建設仮勘定	355,681,000		
特定資産	23,709,923,584	純資産の部	
第2号基本金引当特定資産	500,000,000	科目	金額
退職給与引当特定資産	1,642,027,552	基本金	56,090,290,198
減価償却引当特定資産	14,706,671,791	第1号基本金	55,102,290,198
校舎建設等引当特定資産	3,425,757,976	第2号基本金	500,000,000
創設準備引当特定資産	3,435,466,265	第4号基本金	488,000,000
その他の固定資産	36,585,696	繰越収支差額	111,198,343
電話加入権	3,048,426	翌年度繰越収支差額	111,198,343
施設利用権	600	純資産の部合計	56,201,488,541
保証金	33,316,670		
敷金	220,000	負債及び純資産の部合計	60,341,541,465
流動資産	4,752,725,665		
現金預金	3,988,252,633		
未収入金	143,907,767		
有価証券	581,368,855		
前払金	38,990,824		
仮払金	205,586		
資産の部合計	60,341,541,465		

貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が半年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

資産の部	
固定資産	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車輦等
特定資産	基本金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流動資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
純資産の部	
基本金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本金から第4号基本があります
第1号基本金	教育活動を行うために取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額
第3号基本金	奨学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及びその他の資産の額
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額
繰越収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と一致します

財産目録 (令和7年3月31日) (単位：円)

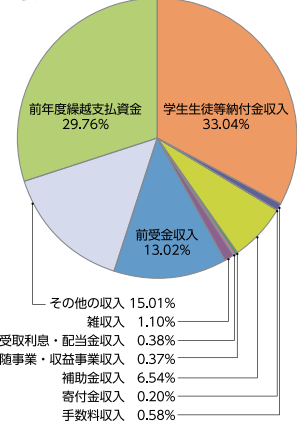
一 資産 額		
1. 基本財産		31,842,306,520
土地	339,096 m	6,905,160,619
建物	154,918 m	16,428,119,006
構築物		754,848,582
教育研究用機器備品	4,204 点	2,400,240,092
管理用機器備品	142 点	24,318,873
図書	459,366冊	4,965,672,662
車両	31 台	1,148,775
船舶	2 艇	7,116,911
建設仮勘定		355,681,000
2. 運用財産		28,499,234,945
現金預金		3,988,252,633
第2号基本金引当特定資産		500,000,000
退職給与引当特定資産		1,642,027,552
減価償却引当特定資産		14,706,671,791
校舎建設等引当特定資産		3,425,757,976
創設準備引当特定資産		3,435,466,265
電話加入権		3,048,426
施設利用権		600
保証金		33,316,670
敷金		220,000
未収入金		143,907,767
有価証券		581,368,855
前払金		38,990,824
仮払金		205,586
資産総額		60,341,541,465
二 負債 額		
1. 固定負債		1,860,391,555
長期借入金		72,750,000
退職給与引当金		1,642,027,552
長期未払金		145,614,003
2. 流動負債		2,279,661,369
短期借入金		47,760,000
未払金		111,750,918
前受金		1,988,436,200
預り金		131,714,251
負債総額		4,140,052,924
正味財産(資産総額－負債総額)		56,201,488,541

監査報告書	
令和7年5月20日	
学校法人 福山大学 理 事 会 御中 評 議 員 会 御中	学校法人 福山大学 監 査 人 北 波 耕 之 郎 監 査 人 山 本 昭 人
私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人福山大学寄附行為第27条の規定に基づき、学校法人福山大学の令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査した。 私たちは監査に当たり、理 事 会 及び評議員会に出席し、理事等から業務の報告を聴取し、必要な決算書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施した。 監査の結果、学校法人福山大学の業務に関する決定及び執行並びに理事の業務執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産又は理事の業務執行に関する不正の行為、または、法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。	
以上	

資金収支計算書 (令和6年4月1日～令和7年3月31日) (単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,045,163,300	人件費支出	3,892,381,806
手数料収入	88,123,267	教育研究経費支出	2,426,817,168
寄付金収入	31,166,226	管理経費支出	304,814,711
補助金収入	998,640,284	借入金等利息支出	2,926,265
資産売却収入	0	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	56,984,298	施設関係支出	1,644,024,400
受取利息・配当金収入	58,177,302	設備関係支出	469,211,579
雑収入	167,405,776	資産運用支出	9,043,851,587
借入金等収入	0	その他の支出	2,618,376,789
前受金収入	1,988,436,200	資金支出調整勘定	△ 229,756,998
その他の収入	13,306,253,690		
資金収入調整勘定	△ 2,076,549,187		
前年度繰越支払資金	4,544,858,784	翌年度繰越支払資金	3,988,252,633
収入の部合計	24,208,659,940	支出の部合計	24,208,659,940

収入



上記のグラフは次のとおり調整しています。
① 資金収入・資金支出調整勘定を除外
② その他の収入・資産運用支出・その他の支出のうち、資産運用・預り金・仮払金に係るものは収入と支出を相殺

資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明	
収入の部	
学生生徒等納付金収入	授業料、入学金、実験実習料等の収入
手数料収入	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄贈者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
借入金等収入	返済期限が貸借対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したもの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目

支出の部	
人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物等の固定資産の取得に係る支出
設備関係支出	機器備品、図書、車両等の取得に係る支出
資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得に係る支出
その他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金等に係る支出
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの

事業活動収支計算書 (令和6年4月1日～令和7年3月31日) (単位：円)

科目	金額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,045,163,300
手数料	88,123,267
寄付金	31,166,226
経常費等補助金	967,713,284
付随事業収入	56,984,298
雑収入	167,425,097
教育活動収入計	6,356,575,472
事業活動支出の部	
人件費	3,908,038,017
教育研究経費	3,398,067,975
管理経費	358,101,030
徴収不能額等	0
教育活動支出計	7,664,207,022
教育活動収支差額	△ 1,307,631,550
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	62,489,371
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	62,489,371
事業活動支出の部	
借入金等利息	2,926,265
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	2,926,265
教育活動外収支差額	59,563,106
経常収支差額	△ 1,248,068,444
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	0
その他の特別収入	34,374,219
特別収入計	34,374,219
事業活動支出の部	
資産処分差額	42,598,269
その他の特別支出	0
特別支出計	42,598,269
特別収支差額	△ 8,224,050
基本金組入前当年度収支差額	△ 1,256,292,494
基本金組入額合計	△ 845,069,393
当年度収支差額	△ 2,101,361,887
前年度繰越収支差額	2,212,560,230
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	111,198,343
(参考)	
事業活動収入計	6,453,439,062
事業活動支出計	7,709,731,556

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動(教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動)に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

科目の説明	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料、入学金、実験実習料等の収入
手数料	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付を加えた額（施設設備に係る寄付は除く）
経常費等補助金	国や地方公共団体から交付される補助金収入（施設設備に係る補助金は除く）
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超えた場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入

事業活動支出の部	
人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金に退職給与引当金繰入額を加えたもの
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以前に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
借入金等利息	借入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を売却した場合の除却損
その他の特別支出	災害損失及び過年度修正額に係る支出

その他の項目	
基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額と当年度収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
事業活動収入計	当年度の事業活動収入の合計
事業活動支出計	当年度の事業活動支出の合計

全国大会壮行式の開催

この度、陸上競技部とソフトテニス部の学生が、全国大会へ出場することとなり、全国大会での健闘を祈念し、5月30日(金)12:20から、プラザ(8号館食堂北側広場)で壮行式が開催され、富士学長より激励のお言葉をいただきました。

【出場大会名】

陸上競技部:天皇賜盃第94回日本学生陸上競技対校選手権
ソフトテニス部:第45回全日本大学ソフトテニス王座決定戦



令和6年度(2025年3月卒業生)の就職結果

14年連続
99%以上!

就職内定率

99.6%

令和6年度における本学の就職率は99.6%となり、14年連続で99%以上の確かな就職実績を達成することができました。また、広島労働局が公表した県内大学生の就職率は96.5%であり、文部科学省が公表した全国の大学の就職率98.0%も大きく上回り、これも本学の教職員が一丸となり、常に親身に、またきめ細かく学生の就職支援に取り組んできた結果であると受け止めております。就職状況は、広島県への就職が約57%、続いて中国(広島県を除く)約12%、関東約9%、近畿約8%等と、各地方の順となっています。

本学も前述のように「教職協働による全学的取り組み」を就職支援の基本にしながら、クラス担任教員、各学科の就職委員に加え、就職課が、組織的にそれぞれの立場から支援を行っています。さらに、キャリアカウンセラーや就職支援ナビゲーター(ハローワーク)による個別指導等の協力を得るなど、しっかりとした学生へのサポート体制を組んでいます。

具体的な取り組みとしては、主に3年生を対象とした「就職講座」(年間15回)を開催しており、また、合同企業説明会や、求人開拓のための企業訪問、インターンシップの準備・実施から発表までの一連のプログラム、さらに、低学年向けの就職準備講座、就活出陣式等です。

OPEN CAMPUS 2025

本学では、高校生・保護者を対象に、福山平成大学の学びや魅力を体験できるオープンキャンパスを開催しています。キャンパスへ足を運び、福山平成大学を肌で感じてもらえるよう来場型で開催し、事前申込制で対応しております。学科での学びの紹介、入学者選抜制度説明を行います。高校生に興味を持っていただける内容での模擬講義・実習体験、施設・設備の見学、キャンパスライフの紹介など、本学のことを知ってもらえるプログラムを企画しております。安心して楽しい1日を過ごしてもらえるように、学生スタッフと教職員が万全の準備をして実施しております。2025年度は第1回を6/21に開催いたしました。



第2回以降は下記の日程で開催いたします。

7月20日(日)・8月23日(土)

9月 6日(土)・2026年3月14日(土)



御幸五訓

- 一、真理を求め、道理の実践を志向する。
- 二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- 三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
- 四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育む。
- 五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発行 福山平成大学 発行日 2025年7月18日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <https://www.heisei-u.ac.jp/>